

学 生 生 活 （Ⅱ）

学生生活充実のために

1. 悩みごとなどの相談

1. 1 学生相談室

1. 学生相談室とは

学生相談室は、学生のみなさんが充実した学生生活を送れるように支援するための場所です。専門の相談員(臨床心理士等)が個別相談に応じています。

相談内容は、学生生活全般、勉強、部活やサークル、人間関係、将来の進路、家庭の問題など、どんなことでもかまいません。なにか心配なことや不安なこと、悩んでいることがありましたら、ひとりで悩まずに学生相談室を訪れてください。

相談内容と相談する人のプライバシーは守られます。安心して来室してください。

学生のみなさんのカウンセリングのほか、教職員や学生のご家族の方からの学生に関する相談もお受けしています。

※ 学生相談室に関する詳細は、埼玉工業大学学生相談室規程を参照してください。

2. 学生相談室の利用方法

相談室は原則予約制です。相談員との個別面談形式でお話を聞かせていただきます。

予約方法

(1) 大学ホームページ予約フォームからの予約

(2) メール予約

(3) 電話予約

申し込みの際は①氏名、②学部学科、③学年、④学籍番号、⑤希望する相談日程(日にち、時間)をお知らせください。予約フォーム、メール予約の場合は学生相談室から折り返し連絡が来てから予約完了となります。

相談する学生本人の同意があれば、友人や保証人等の方が面談に同席することもできます。

なお、面談中は電話に出られないこともありますので、その際は電話をおかけ直しいただくか、メールにてご用件をお知らせください。

● 場 所 : 26号館6階 2662室・2666室(面談用のお部屋が2つあります)

● 開設時間 : 9:30～11:30 / 12:30～16:00(土日・祝日は閉室)

● 電話番号 : 048-585-6879(学生相談室直通)

● e-mail : soudanshitsu@sit.ac.jp

学生相談室のページには以下のQRコードからアクセスできます。

学生相談室のページ(大学ホームページ)

学生相談室 予約フォーム



1. 2 学生委員について(学生相談)

学内には学部・学科ごとに学生相談を担当する学生委員がいます。身近な生活の悩みやトラブル、苦情等も随時受け付けていますので、気軽に相談してください。

また、「外国人留学生」や「障害を持つ学生」についても親身になって相談に応じます。

相談をする場合は、研究室に向かうか、メールアドレスなどで相談内容などを書き込み、合わせて面談日などの確認をしてください。学生課を通じての相談も可能です。

●工学部の学生委員一覧

学科	学生委員氏名	TEL	メールアドレス / ()は研究室
機械工学科	安藤 大樹	048-585-6847	ando@sit.ac.jp (6号館2階)
生命環境化学科	田中 睦生	048-585-6836	mutsuo-tanaka@sit.ac.jp (1号館3階)
情報システム学科	村田 仁樹	048-585-6889	m.murata@sit.ac.jp (27号館4階)
基礎基礎教育センター	松田 智裕	048-585-6867	matsuda@sit.ac.jp (26号館6階)

●人間社会学部の学生委員一覧

学科	学生委員氏名	TEL	メールアドレス / ()は研究室
情報社会学科	高橋 広治	048-585-6303	tkoji@sit.ac.jp (30号館3階)
心理学科	田中 崇恵	048-585-6318	takae.tnk@sit.ac.jp (30号館3階)

1. 3 ハラスメントの防止と相談について

ハラスメントとは、目的はどうかであれ、他の人に不快感や屈辱感などの精神的苦痛、身体的苦痛、不利益を与える人権侵害行為を指します。

セクシャルハラスメント、パワーハラスメントはハラスメントの代表的なものであり、教育研究機関の場におけるハラスメントは、アカデミックハラスメントといわれています。ハラスメントを厳密な意味で区分することは難しく、複数の要素が重なってより深刻なハラスメントになってしまう可能性もあります。

本学では、ある言動がハラスメントに該当するかは言動を行った者の意図にかかわらず、原則として受け手の主観的判断を基準とします。

※ ハラスメント相談室に関する詳細は、埼玉工業大学学生ハラスメント相談室規程を参照してください。

ハラスメントにあった時やハラスメントではないかと感じた時には、ひとりで悩みを抱え込まずに学生ハラスメント相談室に相談してください。ハラスメント被害を受けた本人からだけでなく、第三者からの相談も受け付けています。

学生ハラスメント相談室について(原則予約制)

- 場 所： 26号館6階 2662室・2666室
- 開設時間： 9:30～11:30 / 12:30～16:00 (土日・祝日は閉室)
- e-mail : harasou@sit.ac.jp

予約方法

- (1) 大学ホームページ予約フォームからの予約
- (2) メール予約
- (3) 電話予約

予約フォーム、メール予約の場合は学生ハラスメント相談室から折り返しの連絡が来てから予約完了となります。

- ・ 予約の際は①氏名、②学部学科、③学年、④学籍番号、⑤希望する相談日程(日にち、時間)をお知らせください。
- ・ 相談する学生本人の同意があれば、友人や保証人等の方が面談に同席することもできます。
- ・ ハラスメント相談室では、相談に際しハラスメントの被害を受けた相談者のプライバシーを最大限保護し、秘密を厳守します。
- ・ ハラスメント相談員は、相談者の事情を聞き、相談者の立場に立って迅速に対応します。安心してお越しください。
- ・ ハラスメントに関する相談をしたことを理由に不利益な取り扱いをされることはありません。



1. 4 合理的配慮の申請について

短期間に回復しない心身の障害などにより授業や学生生活に何らかの困難がある学生が、大学生活を送るうえで必要な配慮を大学に申し出ることができます。

大学との協議を経て、合理的配慮を受けることができます。

1. 申請期間

随時受け付けます。ただし申請手続きに時間を要するため、授業開始後2週間までが望ましいです。新たに病気・障害等が発生した場合、あるいは病気・障害等の状態が変わった場合などはその都度申し出を受け付けます。

2. 申請の流れ

- (1) 本人もしくは保証人が学生課に申し出る。
- (2) 本人(及び保証人)、学生相談室相談員(以下、相談員)で面談を実施し、手続き等の説明を行う。
- (3) 必要に応じて以下の書類を本人もしくは保証人が学生課へ提出する。
 - ・ 配慮申請書(面談の際に書式を渡す)
 - ・ 障害者手帳、医師の診断書など、病気・疾患・障害等を客観的に証明できるもの
- (4) 本人(及び保証人)、学生課長、相談員で面談を実施し、病気・障害等の詳細や必要な配慮の内容について話し合う。
- (5) 必要に応じて教務課等と協議しながら、面談の内容をもとに相談員が配慮依頼書を作成する。
- (6) 本人(及び保証人)が配慮依頼書の内容を確認したのち、学生課長、相談員が配慮依頼書を学科長に提出し、説明する。
- (7) 配慮依頼書に基づき学科において対応を協議する。
- (8) 学科長との共有内容を、相談員から本人(及び保証人)へ伝える。
- (9) 配慮・サポートの内容を、別途、記入していただいた情報共有の同意書に基づき、相談員・学生課・教務課から講義担当者、必要部署へ通知する。

2. 学習支援センター

2. 1 学習支援センターとは

学習支援センターは、みなさんの学習活動を支援するため、21号館(図書館棟)内に設けられた施設であり、学習相談や支援セミナー、ワークショップなどを実施しています。学習相談では、語学をはじめとした人文系科目から理数系科目までの広い領域を専門とするチューター(教員)とティーチングアシスタント(大学院生のTA)が、みなさんの自主的な学習をサポートします。講義期間中の月曜日から金曜日まで利用することができます。支援セミナーでは、主に高校数学と高校物理の復習を目的として専任チューターが講師となり、スケジュールに従って單元ごとの解説をしています。大学での授業を理解するのに必要な数学と物理の基礎を学ぶことができます。

ワークショップでは、学ぶことの楽しさを知ってもらうために、さまざまなテーマで体験型の授業を行っています。気軽に受講でき、普段の講義では得られない体験をすることができます。

勉強や生活のことで尋ねたいことがあるとき、レポートを書いていて聞きたいことがあるとき、

空いた時間に自習したいとき、どうぞ学習支援センターの扉を開けてください。ノックなど不要です。教科書や参考書などもたくさん用意していますから、自習にも最適です。

2. 2 利用できるもの

学習支援センターには、勉強に必要なさまざまなもの、たとえば、授業に使う教科書や、辞書・参考書・問題集などが豊富に用意されています。これらはセンター内で自由に利用することができます。コピー機もありますので、自習するには便利でしょう。さらに、ネットワークに接続されたパーソナル・コンピュータも用意しています。情報検索やレポート作成などに利用することができます。

2. 3 担当教員

学習支援センターには、チューター及びティーチングアシスタントが在室しており、学習のことについて質問・相談ができます。

チューターの専門分野は物理・化学から文学・哲学まで幅広く、さまざまな相談に対応することができます。語学のこと、数学、物理、化学、情報、教職など、知りたいことが生まれたら支援センターに行ってみましょう。コンピュータについても、基本的な使い方からプログラミングのことまで相談することができます。

勉強のことで質問したいときは、担当曜日・時間を確認して訪ねてみましょう。もちろん、そのチューターの専門分野以外の用件であっても利用できます。また、支援センターから各科目の先生に連絡を取り、相談することも可能です。

2. 4 開館時間

原則として、月～金曜日は10:30～18:30まで開館しています。

開講科目、担当教員、開講時間などの詳細は、埼玉工業大学学習支援センターホームページで確認してください。

3. 健康相談

心身が健康であってこそ、学生生活を楽しむことができます。病に倒れてしまつては何もできません。身体的疾病を解決することにより、精神的な不安も解消されます。自己の健康管理のポイントは「早期発見」です。

3. 1 保健室の利用

授業中や課外活動中など学内での体調不良や、思わぬケガをしたときは、すぐに保健室(21号館[図書館]1階)または学生課へ申し出てください。

3. 2 定期健康診断

毎年、全学生を対象とした、定期健康診断を実施しています。

新入生は、4月のオリエンテーション期間内と3月下旬に、在学生(4年生除く)は、3月下旬に行っています。

定期健康診断は、学生の皆さんの健康維持、疾病の早期発見のために毎年行っていますので、必ず受診するようにしてください。

定期健康診断の実施項目は、以下の通りです。

X線間接撮影、尿検査、血圧、視力、色覚、内科検診、身体計測(身長、体重)、血液検査

定期健康診断の実施日は、LiveCampusUにてお知らせいたします。

健康診断に無関心でいると、取り返しのつかない事態になります。就職の斡旋などができないことがありますので十分注意してください。

3. 3 健康診断証明書の発行

定期健康診断を受けた学生は、健康診断書を発行することができます。就職活動を行う際には、必要な書類となります。

健康診断書の発行は、26号館学生課前の証明書自動発行機で行ってください。

手数料は1通300円です。なお、4年生が就職活動に使用する場合は1通100円です。

3. 4 健康診断結果報告書の発行

定期健康診断を受けた学生には、LiveCampusU(マイ info の学生情報内)で健康診断情報を公開します。受診したそれぞれの項目の検査結果が一目でわかるものです。なお、「総合判定」、「今回の総合コメント」にて、検査を要するとの判定の場合は、医師の再検査を至急受け、再検査の結果を学生課に報告してください。

3. 5 飲酒の恐ろしさ

1. 「イッキ飲み」の禁止

「イッキ、イッキ」の掛け声とともに大量のお酒を短時間で飲むイッキ飲みは、体内のアルコール分解のサイクルを無視した非常に危険な飲み方です。肝臓での代謝が追いつかず、アルコールの血中濃度が急速に高まって、呼吸中枢などの中枢神経が麻痺(マヒ)してしまう急性アルコール中毒になりやすいのです。時には脳の麻痺が進み、意識が混濁、呼吸も麻痺して死に至る場合もあります。

酔いつぶそうと思って飲ませ死なせたら『傷害致死罪』、そんな意図がなくても、相手が酒に溺れて死亡したら『過失致死罪』、一緒に飲んで相手が泥酔の状態におち、そのまま放置したら『保護責任者遺棄』、さらに死傷に至ったら『遺棄致死傷』等、法的な処分が科せられます。この問題は他人ごとではありません。

お酒は適量飲めばストレスが発散され、場の雰囲気も盛り上がり、時には楽しいものです。しかし、誤った飲み方をした場合には、どんな人でも死に至る恐ろしいものでもあります。大学生だからといって無理をしても平気だろうと自負している学生は、考えや認識を改める必要があります。

2. 飲酒の心得5ヶ条

- (1) 「イッキ」飲みは決してしない、させない
- (2) 飲めない人にはすすめない
- (3) 体調が悪い日、風邪薬や痛み止めなどの薬を飲んでいるときは、飲まない
- (4) 食べながら、ゆっくり飲む
- (5) 飲める人でも「ほろ酔い」段階で切り上げる

3. 「20歳未満の者の飲酒」の禁止

日本では「20歳未満の者の飲酒の禁止に関する法律」によって、20歳未満の飲酒が禁じられていますが、その目的は未成年者をアルコールの害から守ることにあります。

人間の成長期は心身ともに未発達です。アルコール分解能力も大人に比べて未熟なため、脳細胞への悪影響、性ホルモンを作り出す臓器の機能が抑制されるなど、未成年者の飲酒は健全な発育を阻害することになります。

4. 「飲酒運転」の禁止

車の運転には機敏な反射能力や的確な判断能力が必要ですが、お酒を飲むことによってそうした能力は低下します。飲酒による視力の低下はいちじるしく、視野は狭くなってしまいます。末梢神経の反射運動能力が損なわれ、集中力が落ち、スピードの出しすぎ、ブレーキの踏み遅れやハンドル、アクセルの操作が乱暴になります。

酒気帯び運転、酒酔い運転は、一歩間違えば本人だけでなく、関係のない他人をも悲劇に巻き込む重大な事故につながります。道路交通法で「何人も酒気を帯びて運転してはならない」と言っているのは、こうした飲酒運転の恐ろしさによるものなのです。一口でも飲んだら車の運転はしない、運転をするなら一口も飲まないという強い意志を持ちましょう。

- 詳細は、以下の「(公社)アルコール健康医学協会」のホームページを確認してください。

<http://www.arukenkyo.or.jp/>

3. 6 エイズに関する基礎知識

エイズ(AIDS)は、Acquired Immune Deficiency Syndromeの頭文字をとったもので、日本語では「後天性免疫不全症候群」といいます。エイズを起こすウイルスはHIV(ヒト免疫不全ウイルス)といい、一般的にエイズ・ウイルスと呼ばれます。

エイズは、外から感染したエイズ・ウイルスによって、からだの免疫機能が破壊され、さまざまな病原体に感染しやすくなる病気です。治療方法も進歩し、延命できる人も増えてきましたが、まだ治すことが難しい病気です。また、だれでもかかりうる病気です。感染経路は性行為・血液・母子感染の3つです。急増しているのは性行為感染です。正しい予防をしなければ、だれでもHIVに感染する危険性があります。日常生活(握手・入浴・食べ物を分け合う・プール)では感染しません。HIVに汚染された血液・精液・膺分泌液の粘膜への直接接触を防ぐことで十分に予防できます。現在のところ、性行為感染を防止できる確実な方法はコンドームの正しい使用です。

自分が感染したかもしれないと思われる場合は、ためらわずに検査を受けてください。一応の目安として、最後の心当たりから、12週間たってから後の検査をお勧めします。

- 詳細は、以下の「(公財)エイズ予防財団」のホームページを確認してください。

<https://www.jfap.or.jp/>

専門の相談員が直接お答えします。

フリーダイヤル 0120-177-812 (携帯電話からは 03-5259-1815)

機関ではプライバシーが守られるように、きちんと配慮がされております。

全国の保健所でも匿名で相談または検査が受けられます。費用は原則無料です。

3. 7 禁煙運動について

タバコはなぜよくないか(百害あって一利なし)

タバコの害で代表的なのは肺がんです。喫煙者の肺がん死亡率は吸わない人の実に4倍以上。また喫煙は動脈硬化を促進したり、ビタミンCが大量に消費されて感染症にかかりやすくなります。さらに怖いのは間接喫煙。タバコの害は主流煙(本人が吸ったタバコの煙)よりも副流煙(間接喫煙:他人が吸ったタバコの煙)のほうが強いので、家族や周囲の人にも大きなリスクを与えてしまいます。このようなことから本学も学生諸君の健康を守るため、また、快適な空間を維持するため禁煙運動を推進しています。

3. 8 大麻・危険ドラッグなどの薬物の乱用防止について たった一度の使用が人生を台無しに！

昨今、報道されている「大学生による大麻等違法薬物の所持・乱用」ならびに「危険ドラッグの服用によって引き起こされた事故・事件」が大きな社会問題になっています。大麻を始めとする違法薬物や危険ドラッグは、その使用ばかりでなく、所持・栽培・製造・売買等も、法律で厳しく罰せられます。

違法な薬物の使用は、自身の健康と精神を破壊し、悲惨な学生生活につながってしまいます。

学生の皆さんは、違法薬物や危険ドラッグの所持、使用の危険性を十分認識し、本学の学生として責任ある自覚と良識ある行動をとるよう強く望みます。

- 詳細は、以下の「厚生労働省薬物乱用防止」のホームページを確認してください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/

3. 9 若年女性に急増中の子宮頸がんについて

近年、子宮頸がんは20歳代の若年層で、急激に増えています。子宮頸がんの原因は、「ヒト・パピローマウイルス(HPV: Human Papilloma virus)」の感染が関連しているとされており、HPVは性交経験があれば誰にでも感染しうる、ごくありふれたウイルスで、女性の約8割が50歳までに感染を経験すると言われています。検診により、HPV感染から“がん化”する前の異形成という状態を発見することが可能で、初期に発見できれば子宮頸部の一部を切除する手術で治療することができ、治療後の妊娠・出産も可能です。手遅れとなる前に、定期的な検診を受けましょう。

- 詳細は、以下のホームページを確認してください。

国立がん研究センターがん対策研究所

<https://www.ncc.go.jp/jp/cis/>

特定非営利活動法人 子宮頸がんを考える市民の会

<https://love49.org/>

子宮頸がん予防情報サイト

<https://www.shikyukeigan-yobo.jp/>

3. 10 大学周辺の主な医療機関

思いがけない病気やケガの時のために、本学周辺の医療機関の一部を紹介します。

【深谷地区】

佐々木病院	(内、外、整、形成、脳外、循、皮、リハ)	深谷市西島 2-16-1 048-571-0242
桜ヶ丘病院	(内、消、婦、循、小)	深谷市国済寺 408-5 048-571-1171
益岡医院	(内、外、整、消、循)	深谷市岡部 1249-10 048-585-5657
上柴クリニック	(内、外、消、循、放)	深谷市上野台 2321-2 048-574-7770
はしもとクリニック	(内、外、消、血内)	深谷市西島町 2-2-2 048-551-8410
ふかやクリニック	(内、整、リハ、リウ、心内、精、消、小)	深谷市宿根 245-1 048-574-0022
あだち医院	(内、消、外、リハ)	深谷市上柴町東 5-15-14 048-551-0222
清水内科クリニック	(内、消、循、リハ)	深谷市人見 445-1 048-573-1197
白倉医院	(内、消、小)	深谷市稲荷町 3-3-1 048-571-0169
四元医院	(内、外)	深谷市上柴町西 1-4-1 048-573-5200
今井医院	(内)	深谷市寿町 52 048-572-7728
安達皮膚科医院	(皮)	深谷市上柴町西 4-4-19 048-571-2301
石川医院	(耳)	深谷市西島 3-17-65 048-571-0038
正田眼科	(眼)	深谷市稲荷町 1-2-15 048-571-1198
ふかや眼科	(眼)	深谷市西島町 3-14-8 048-572-3910

【深谷地区】

高橋眼科医院	(眼)	深谷市栄町 1-47 048-571-0318
橋本歯科医院	(歯)	深谷市山河 1234-2 048-585-1101
新井歯科医院	(歯)	深谷市上柴町東 5-14-12 0120-860-441
大濱歯科医院	(歯)	深谷市東方町 3-19-14 048-573-8266
太宰歯科クリニック	(歯)	深谷市上野台 2904-14 048-573-7800

【本庄地区】

本庄総合病院	(内、小、外、整、脳外、眼、耳、 皮、泌)	本庄市北堀 1780 0495-22-6111
本庄駅前病院	(内、外、整、形、消、肛、リハ、 皮)	本庄市駅南 1-2-32 0495-22-2163
田所医院	(内、外、循、放、呼、消、整)	本庄市けや木 1-8-2 0495-22-3445
岡病院	(内、消、循、泌)	本庄市北堀 810 0495-24-8821
上武病院	(内、精、歯)	本庄市小島 5-6-1 0495-21-0111
松本産婦人科医院	(婦、産、女性内科)	本庄市千代田 1-1-26 0495-24-3377
服部クリニック	(眼、耳)	本庄市東台 4-1-22 0495-24-4671
春山眼科医院	(眼)	本庄市けや木 1-5-5 0495-21-2160
中央歯科医院	(歯、矯正)	本庄市駅南 2-15-3 0495-21-1807

【熊谷地区】

熊谷総合病院	(内、外、胃、産、耳、小、眼 整、皮、泌、脳、リハ、放)	熊谷市中西 4-5-1 048-521-0065
藤間病院	(内、外、消、循、整、泌、産、整)	熊谷市末広 2-137 048-522-0600
ティアラ 21 女性クリニック	(婦人科内科・女性の心と身体の 悩み相談ほか)	熊谷市筑波 3-202 5F 048-527-1122
はぎわら眼科	(眼)	熊谷市玉井 1744-1 048-533-1177

4. 奨学金制度

奨学金制度は、教育の機会均等の精神に基づき、独立行政法人日本学生支援機構をはじめとする各種の団体により設けられています。

これらの制度は、学業成績・人物ともに優秀であって経済的に援助を必要としている学生に対して奨学金を貸与または給付するものです。奨学金関係の事務は、学生課で扱っています。

奨学金制度により、出願資格・貸与または給付の期間・金額・申請に必要な書類が異なります。

奨学金関係の説明会や募集案内に関する連絡は、すべて LiveCampusU にて案内しますので、見落とすことのないよう十分注意してください。

4. 1 学校法人智香寺学園特別奨学金制度(給付)

1. 目 的 学部学生で学業・人物ともに優秀なものに、奨学金を授与し、これを奨励する。
2. 資 格 2年生以上で、前年次の成績が優秀かつ健全な学生と認められた者。
3. 給 付 額 10万円
4. 採用決定 各学科の学科長が推薦し、理事会審査を経て、毎年度始めに決定する。

4. 2 埼玉工業大学後援会奨学金制度(給付)

1. 目 的 埼玉工業大学後援会の趣旨に基づき、学生の学業成就と成績向上を助成する。
2. 資 格 2年生以上で、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により学業の継続困難と認められる者。ただし、他の学内外諸団体の奨学金を受給していない者に限る。
3. 給 付 額 10万円
4. 採用選考 希望者の申請に基づき、学生委員会が選考する。
5. 採用者数 25名程度
6. 募集時期 毎年6月

4. 3 埼玉工業大学後援会留学生奨学金制度(給付)

1. 目 的 埼玉工業大学後援会の趣旨に基づき、留学生の学業成就と成績向上を助成する。
2. 資 格 2年生以上の在留資格[留学]を有する私費留学生で、学業・人物ともに優秀な者。ただし、他の学内外諸団体の奨学金を受給していない者に限る。
3. 給 付 額 10万円
4. 採用選考 希望者の申請に基づき、学生委員会が選考する。
5. 採用者数 若干名
6. 募集時期 毎年6月

4. 4 浄土宗 宗立・宗門校奨学金制度(給付)

1. 資 格 4年生で、志操堅固かつ学術優秀なる者。
2. 給 付 額 10万円
3. 採 用 者 4年生から5名(各学科1名)
4. 採用選考 学科長の推薦

4. 5 日本学生支援機構奨学金(給付奨学金・授業料等の免除／貸与奨学金)

1. 給付奨学金・授業料等の免除

経済的理由で大学・専門学校への進学をあきらめないよう、世帯収入の基準を満たしていれば、成績だけで判断せず、しっかりとした「学ぶ意欲」があれば支援を受けることができます。また、給付奨学金の対象となれば、大学・専門学校等の授業料・入学金も免除または減額されます。

【支援内容】所得に応じて、採用の区分は4段階に分かれます。

所得の区分 (年収目安)	支援区分	給付奨学金(月額)		本学での授業料等減免額	
		自宅通学	自宅外通学	入学金(1回)	授業料(年額)
～270万円	第Ⅰ区分 1子・2子世帯	38,300円 (42,500円)	75,800円	220,000円	700,000円
	第Ⅰ区分 多子世帯	38,300円 (42,500円)	75,800円	220,000円	700,000円
270万円～ 300万円	第Ⅱ区分 1子・2子世帯	25,600円 (28,400円)	50,600円	146,700円	466,700円
	第Ⅱ区分 多子世帯	25,600円 (28,400円)	50,600円	220,000円	700,000円
300万円～ 380万円	第Ⅲ区分 1子・2子世帯	12,800円 (14,200円)	25,300円	73,400円	233,400円
	第Ⅲ区分 多子世帯	12,800円 (14,200円)	25,300円	220,000円	700,000円
～600万円	第Ⅳ区分 (理工農系)	—	—	73,400円	233,400円
	第Ⅳ区分 多子世帯	9,600円	19,000円	220,000円	700,000円
600万円～	多子世帯	—	—	220,000円	700,000円

※カッコ内金額は、生活保護を受けている生計維持者と同居している人および児童養護施設から通学する方が対象

※私立理工農系支援は、給付奨学金はありません(授業料・入学金のみ対象)

2. 貸与奨学金

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的として国が実施する制度です。貸与奨学金には、「第一種奨学金」(無利子)と、「第二種奨学金」(有利子)があります。このほかに、入学時の一時金として「入学時特別増額貸与奨学金」(有利子)があります。

【貸与月額】

	第一種奨学金	第二種奨学金
自宅通学者の場合	2万円・3万円・4万円・5.4万円 〔学生が選択〕	2万円～12万円までの間で1万円単位で額を選択 〔学生が選択〕
自宅外通学者の場合	2万円・3万円・4万円・5万円・6.4万円 〔学生が選択〕	

【入学時特別増額貸与奨学金】

- (1) 入学時特別増額貸与の対象者は、4月を始期として奨学金の貸与を受ける者で、初回の月額に増額して貸与を希望するものです。
- (2) 申込みは、所得が少ないために日本政策金融公庫の教育ローンが利用できなかった世帯(当該融資に係る世帯収入の上限を超えるものを除く)、または申込時の家計基準における認定所得が0(ゼロ)評価となる者の子弟に限られます。
- (3) 貸与額は、10・20・30・40・50万円から選択できます。
- (4) 奨学金の第1回目の振込時に全額が上乗せされます。

- (5) 入学時特別増額貸与奨学金だけを借りることはできません。
3. 募集時期

4月中旬頃に募集を行います。状況により追加募集や二次募集を行うこともあります。

募集・継続の手続については、すべてLiveCampusUにて案内しますので、見落としのないよう注意し、必ず説明会に出席してください。

家計支持者の失職・急死または火災や災害(台風・地震)等により、家計が急変し、緊急に奨学金の貸与が必要となった場合は、定期以外の採用(応急・緊急)があります。

学生課に相談してください。

- 詳細は、以下の「日本学生支援機構」のホームページを確認してください。
<https://www.jasso.go.jp>

4. 6 留学生関係の奨学金制度

1. 留学生受入れ促進プログラム(文部科学省外国人留学生学習奨励費)
2. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学金
3. 公益財団法人平和中島財団奨学金

等に実績があります。

詳しい内容については、募集の依頼があり次第、その都度LiveCampusUにて案内します。

不明な点については、学生課に問い合わせてください。

4. 7 その他の奨学金制度

都道府県教育委員会、地方公共団体、その他民間団体等の奨学金制度がありますので、募集の依頼があり次第、所定の掲示板に掲示及びLiveCampusUにて案内します。

4. 8 提携教育ローン

1. オリエントコーポレーション学費サポートプラン(学費分納制度)

本学と提携する(株)オリエントコーポレーションの学費サポートプランの利用者に対し、学生の在学期間における利子相当額について、奨学金として支給いたします。

「学費サポートプラン」は、入学金や授業料などの納付金を、Webまたは郵送で申込手続きができる学費の分割納付制度です(来店や所得証明書は不要です)。

- ① 申込先 (株)オリエントコーポレーション

資料請求先：学費サポートデスク

電話番号：0120-517-325 (平日 9:30～17:30)

※ 大学のホームページより申込みが可能です。

- ② 利用対象者 本学に入学または在学する学生の保証人

※ 審査結果により、このプランの利用ができない場合があることを了承ください。

- ③ 対象費用 入学金・授業料・諸会費等の学校納付金

- ④ 利用可能額 納付書記載金額(利用累計 500万円まで)

利用金額は、(株)オリエントコーポレーションから埼玉工業大学へ直接振り込まれます。

申込に必要なものは、新入学生の場合「合格通知の写し」、「納付書の写し」、在学生の場合「学生証写し」、「納付書の写し」などです。

- ⑤ 返済方法 「通常分納」、「ステップアップ分納(在学期間中利払)」のどちらかを選択します。利率は、固定金利 年率3.8%(令和6年12月1日現在)

- ⑥ 利子補給 利子補給期間は在学中に限り、給付は埼玉工業大学より奨学金として、保証人の銀行口座に振り込みいたします。なお、利子補給の利率の上限は年率5%となります。また、本プラン以外の教育ローンは、利子補給の対象となりません。

- ⑦ 問合せ先 埼玉工業大学会計課

電話番号：048-585-6810 (平日 9:00～17:30)

2. 群馬銀行教育ローン

本学と提携する(株)群馬銀行の教育ローンで、金利の優遇があります。詳しくは、(株)群馬銀行のホームページ(<https://www.gunmabank.co.jp/teikei/kyoiku/>)で学校コード(ID):92910を入力するか、学費の納入書に同封してあるパンフレットをご参照ください。ただし、この提携教育ローンは利子補給制度の対象とはなりません。

4. 9 国の教育ローン(日本政策金融公庫)

「国の教育ローン」は、ご家庭の教育費の負担を軽減し、お子さまの進学・在学を応援するために設けられています。

今後1年間に必要となる費用がご融資の対象となります。授業料のほか、自宅外通学の場合の住居費用などにも使うことができます。

- 詳細は、以下の「日本政策金融公庫(国の教育ローン)」のホームページを確認してください。
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

5. 生活相談

学生生活を送るうえでの相談を、学生課にて対応しています。

5. 1 アパートの紹介

自宅から通学できない学生のためにアパートを紹介しています。最新の情報は、学生課にて確認してください。

1. 住まいを借りるときの心構え

- (1) トラブルを避けるために契約内容(敷金・礼金・家賃・駐車場・その他の費用・契約期間等)をよく確認してから契約してください。
また、近隣の生活環境等を確認し、必ず物件の下見をしてください。
下見をする場合、家主さんや不動産会社に日程を連絡してから訪ねてください。
- (2) 「家主さんとの直接契約の物件」と「不動産会社の物件」と2種類あります。
「家主さんとの直接契約の物件」は、大学近隣の家主さんからの物件で、大学から安価な家賃の設定を依頼しています。「不動産会社の物件」は、近隣の不動産会社の情報を記載しています。契約内容はそれぞれ異なるので、十分注意してください。
- (3) 部屋の条件に納得できたら、賃貸契約をしてください。
- (4) 契約後に不都合が生じた場合は、学生課に相談してください。
- (5) 入居後、騒音などには十分な配慮をしてください。
- (6) 自治体によりゴミ処理等の決まりごとが違います。契約時に家主さん、不動産会社から情報を集め、近隣に迷惑をかけないように心掛けてください。
- (7) あらゆるトラブルには誠心誠意あたり、それでも解決できない場合は、学生課に相談してください。

部屋が決まり、引っ越しを終えたら、いよいよ新生活が始まります。一人暮らしは自立への第一歩。お金もしっかり管理しなければなりません。予算内で生活できるよう金銭を管理することが大切です。「収支のバランス」を常に心がけて生活しましょう。

5. 2 アルバイトの紹介

アルバイトは、学業を優先に考え、無理のない自分にあったものを選ぶ必要があります。深夜におよぶアルバイトに就き、授業を犠牲にして退学する学生も見受けられます。健康を害さないよう、学生各自が慎重に選んでください。

26号館1階掲示板のアルバイト求人票を見て自分に適したものがあった場合は、直接求人先に連絡してください。また、アルバイトを始める前に労働条件などをよく確認し契約してください。

なお、不安や疑問がある場合は、遠慮なく学生課に相談してください。

5. 3 国民年金の加入

満 20 歳になると国民年金への加入が義務づけられています。これまでに、国民年金に加入していなかったために、在学中に事故や病気で障害の状態になっても、障害基礎年金が受けられなかったという事例もあります。20 歳になったら必ず国民年金に加入してください。

1. 国民年金は、こんなリスクに対応

(1) 障害基礎年金

国民年金の被保険者が障害を負った場合、一定の条件を満たしていれば障害基礎年金が受給できる。障害の程度による定額制。

(2) 老齢基礎年金

原則として 65 歳から受け取ることができる。受け取るためには、国民年金の納付期間や免除期間およびカラ期間(合算対象期間)と、厚生年金に加入していた期間を合算し、10 年以上の期間が必要。国民年金保険料を納めた期間や免除を受けた期間によって受け取る年金額は異なる。

(3) 遺族基礎年金

国民年金に加入中の人や国民年金の保険料を払い終わった 60 歳以上 65 歳未満の国内に住んでいる人が亡くなった場合に、18 歳未満の子をもつ妻や、両親のいない 18 歳未満の子などに支給される。老齢基礎年金をすでに受給していた人や、受給資格の要件を満たす人が亡くなった場合にも支給される。ただし、死亡した人について保険料納付済期間(保険料免除期間を含む)が加入期間の 3 分の 2 以上あること。

2. 国民年金の学生納付特例制度について

本学で学生納付特例の申請手続きができます。

学生納付特例とは、所得が少なく保険料を納めることが困難な 20 歳以上の学生の方が、将来、年金を受け取ることができなくなることや、不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金が受け取ることができなくなること等を防止するため、本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。大学の申請手続窓口は、学生課です。

● 詳細は、以下の「日本年金機構」のホームページを確認してください。

<https://www.nenkin.go.jp/>

5. 4 悪徳商法〔こんな手口が君を狙っている〕

1. 訪問・通信販売等への注意

大きな社会問題となっている「悪徳商法」のほこ先が学生に向けられ、ここ数年、訪問販売・街頭アンケート・通信販売・インターネット通販などの悪徳商法に引っかかりトラブルに巻き込まれ苦労している学生が後を絶ちません。これら悪徳商法について、代表的な実例を紹介します。安易な気持ちで契約を結ばないよう、くれぐれも注意することが必要です。

＜悪徳商法の実例＞

(1) 資格取得商法

特定の民間団体が、さも所轄官庁の認可を受けたかのように装ったものや、大学が承認している資格と称して、通信教育などの手段で資格が得られることをうたい文句に、実態の不明確な講習会や国家試験として資格を売ってもの。

(2) キャッチ・セールス

街で通行人に「アンケートに協力してください」などと声を掛け、長時間執拗に説得されたのち、化粧品や健康食品、エステなどの高額なクレジット契約をさせるもの。

(3) アポイント商法

突然、下宿・アパートや自宅に手紙や電話などで「○○賞品が当選しました」などといって誘い出し、実益のない特典をたくみに説明し、パソコンやビデオなどを売りつけるもの。

(4) マルチ(まがい)商法

ネズミ講と商品販売を組み合わせた方法で、次から次へと会員を増やしながら会員数(集金組織)を拡大していくことにより利益を上げるもの。

(例) 自動車部品、化粧品、洗剤、教材の販売等

- (5) かたり商法
消防署、保健所などの公的機関から来たとかたり(思わせ)、消火器等の商品を売りつけるもの。
- (6) ネガティブ・オプション商法
注文していないのに勝手に商品を送りつけ、代金を請求してくる図々しい方法です。代金を支払う義務も送り返す義務もありません。ただし、送られてきたものは14日間保管する必要があります。(業者に引き取り請求した場合は7日間)
その後の処分は自由です。自分が注文していないものは受け取りを拒否しましょう。
- (7) インターネット通販トラブル
最近非常に多くなっているのがこのトラブルです。インターネットで商品を注文して、料金を支払ったにも係わらず商品が届かない。ホームページ自体が削除されている等です。所在地や担当者名、電話番号等に不備があるショップとは取引をしないでください。
2. クーリング・オフ(Cooling off)
「クーリング・オフ」とは、訪問販売や電話勧誘販売などの不意打ち的な販売で断り切れず契約したとき、一定の期間内であれば消費者が事業者との間で申込みまたは締結した契約を無条件で撤回・解除することができる制度のことをいいます。
クーリング・オフの期間は、契約した日から8日以内、マルチ・現物まがい商法は14日以内です。この期間内に、書面で、「クーリング・オフ」を業者に通知しなければなりません。その際は、電話でなく、必ず書面(出来れば「内容証明郵便」が望ましい)にて対応してください。ハガキで出す場合はコピーを取って「簡易書留」で送付してください。
クレジット払いのときは、念のため業者と同様の書面をクレジット会社にも送付する必要があります。なお、郵便・電話・FAXなどで申込む通信販売は、クーリング・オフの適用がありませんので注意してください。
3. 困ったときの相談先は？
(1) トラブルに巻き込まれたら、直ちに学生課〔TEL 048-585-6812〕へ連絡してください。
(2) (一財)日本消費者協会消費者相談室 TEL 03-5282-5319
<https://jca-home.jp/sodan/>
(3) 埼玉県消費生活支援センター熊谷 TEL 048-524-0999
<http://www.kokusen.go.jp/map/11/center0039.html>
(4) 最寄りの消費生活センター
4. 悪徳商法から身を守る7ヶ条
(1) 勇気を持ってきっぱり断る。「いいです。」「結構です。」とあいまいな言葉は使わない。
(2) 「無料」「あなただけ」「絶対儲かる」などの誘いには要注意。
(3) 知らない電話番号にかけない、メールに返信しない。怪しいサイトに入らない。
(4) 商品の本質を見極める。本当に欲しいか自分に問い質す。
(5) 契約書は、その場でしっかりと読む。契約は慎重に。
(6) クレジット1回分の価格に惑わされない。甘い誘惑とやさしい言葉に気をつける。
(7) 1人で悩まず家族や身近な友人等に早く相談する。

6. 厚生施設

6. 1 温水プール施設「パティオ」について

深谷市の「アクアパラダイス・パティオ」は、年間を通じて利用することができる全天候型ウォーター・パークです。(住所：埼玉県深谷市榎合 763、TEL：048 - 574 - 5000)

本学の学生が「アクアパラダイス・パティオ」を利用する場合は、パティオの受付に学生証を提示し、利用料金 800 円(市民割引額)の半額を支払い、受付台帳に学籍番号を記入してください。

- 詳細は、以下の「アクアパラダイス・パティオ」のホームページを確認してください。
<https://patio.or.jp/>

7. オフィス・アワーについて

本学では、修学に関するあらゆる相談や指導に対応するためにオフィス・アワーを設けています。相談日や時間はそれぞれの先生や学科により異なりますので、下記の時間を参考に積極的に活用してください。加えて、対面でのミーティングに抵抗のある方のために、Zoom にてオンライン・オフィス・アワーも提供しています。

相談には、事前に予約が必要な場合がありますので、注意してください。

予約が必要となるオンライン・オフィス・アワーの場合は、個別にE-mail で連絡して下さい。

<機械工学科>

教員名	期間	曜日	相談時間	室番	予約	メールアドレス
長谷 亜蘭	通年	木	12:40 ～ 13:10	622B	要予約	alan_hase@sit.ac.jp
趙 希禄	通年	月	17:30 ～ 18:30	625A	要予約	zhaoxilu@sit.ac.jp
皆川 佳祐	通年	月	12:45 ～ 13:20	624B	要予約	mina@sit.ac.jp
萩原 隆明	通年	月	17:05 ～ 18:30	625B	予約が望ましい	t-hagiwara@sit.ac.jp
安藤 大樹	通年	火	12:40 ～ 13:15	621A	要予約	ando@sit.ac.jp
上月 陽一	通年	火	9:10 ～ 10:40	626B	不要	kohzuki@sit.ac.jp
高坂 祐顕	通年	月	16:50 ～ 18:30	627A	不要	kosaka@sit.ac.jp
福島 祥夫	通年	月	16:30 ～ 17:30	2758	不要	fuku-shio@sit.ac.jp
河田 直樹	通年	木	12:40 ～ 13:15	626A	要予約	kawada@sit.ac.jp
福地 亜宝郎	通年	水	12:40 ～ 13:10	628B	要予約	apollo-fukuchi@sit.ac.jp
長井 力	通年	水	17:00 以降	627B	不要	nagai@sit.ac.jp
岡田 和也	通年	月・火	16:50 ～ 18:30	2753	要予約	kokada@sit.ac.jp
政木 清孝	通年	水	12:40 ～ 13:10（事前連絡にて日時調整可）	628A	要予約	masaki-k@sit.ac.jp

<生命環境化学科>

教員名	期間	曜日	相談時間	室番	予約	メールアドレス
岩崎 政和	前期 後期	火・水 火・木	12:40～13:25（および 講義等時間外は随時）	213	要予約	iwasaki@sit.ac.jp
石川 正英	前期 後期	水・金 火・金	12:40～13:25	225	要予約	ishikawa@sit.ac.jp
長谷部 靖	通年	木・金	12:40～13:25	222	要予約	hasebe@sit.ac.jp
有谷 博文	通年	火～金	12:40～13:25（および 講義等時間外は随時）	134	不要	aritani@sit.ac.jp
木下 基	通年	火	12:40～13:25	141	要予約	mkinoshita@sit.ac.jp
松浦 宏昭	通年	火 木	12:40～13:25	144	要予約	matsuura@sit.ac.jp
秋田 祐介	前期 後期	木 水	13:00～16:00	2731	要予約	akita@sit.ac.jp
秦田 勇二	前期 後期	金 木	13:00～16:00 13:00～16:00	2735	要予約	hatada@sit.ac.jp
本郷 照久	通年	水	12:40～13:25	214	要予約	hongo@sit.ac.jp
田中 睦生	通年	月～金	昼休み時間（および講 義等時間外は随時）	131	要予約	mitsuo-tanaka@sit.ac.jp

<情報システム学科> ※なるべくメールで予約して下さい

教員名	期間	曜日	相談時間	室番	予約	メールアドレス
渡部 大志	通年	月	16:30～17:00	2243	※	dw@sit.ac.jp
曹 建庭	通年	火	12:30～13:10	1924	※	cao@sit.ac.jp
吉澤 浩和	通年	金	12:40～13:20	1943	※	yoshiz_h@sit.ac.jp
松井 章典	通年	火, 木, 金	12:30～13:15	2755	※	matsui@sit.ac.jp
鯨井 政祐	通年	火	9:10～10:50	2242	※	kujipon@sit.ac.jp
井上 聡	前期 後期	水木 火木金	12:20～13:10	2237	※	inoue@sit.ac.jp
橋本 智己	通年	月	12:45～13:15	2756	※	tomomi@sit.ac.jp
伊丹 史緒	通年	金	15:00～16:00	1935	※	itami@sit.ac.jp
前田 太陽	通年	金	17:00～18:30	2246	※	maedat@sit.ac.jp
望月 義彦	通年	火	17:00～18:30	2248	※	motchy@sit.ac.jp
村田 仁樹	通年	火 木	13:00～14:30	2743	※	m.murata@sit.ac.jp
藤田 和広	前期 後期	火 水	12:45～13:15 15:30～16:30	1936	※	kfujita@sit.ac.jp
中村 晃	通年	火	15:30～16:30	2746	※	akira-nakamura@sit.ac.jp
古川 靖	通年	金	12:40～13:10	1914	※	furukawa@sit.ac.jp
桑木 道子	通年	火	12:30～13:15	1941	※	m.kuwaki@sit.ac.jp
舘山 武史	通年	水	17:00～18:30	1921	※	tateyama@sit.ac.jp
神田 直大	通年	火	12:30～13:20	2241	※	kanda.naohiro@sit.ac.jp
土田 光	通年	木	12:40～13:20	1944	※	h_tsuchida@sit.ac.jp
田中 克明	通年	木	11:00～12:30		※	katsuaki@sit.ac.jp

<基礎教育センター>

教員名	期間	曜日	相談時間	室番	予約	メールアドレス
山路 雅也	通年	火	12:35～12:55	2656	不要	yamaji@sit.ac.jp
松田 智裕	通年	水	15:05～16:00	2663	要予約	matsuda@sit.ac.jp
高橋 優	通年	月	13:25～14:15	2671	要予約	masaru@sit.ac.jp
坂梨 健史郎	通年	金	15:30～16:00	2657	不要	sakanasi@sit.ac.jp
高橋 俊典	通年	火	11:00～11:50	2667	不要	ttoshi@sit.ac.jp
清水 雅己	通年	月	13:25～14:15	2673	要予約	m_shimizu@sit.ac.jp

8. 個別指導(個別面談と補習授業)について

工学部では、GPA 1.0 未満相当の成績不振学生および留年生に対して個別指導を行います。該当学生には担当教員が各学期のガイダンス時に個別面談を行うとともに、必要に応じて補習授業の受講を指導します。補習授業の実施方法および内容は下記のとおりです。不明な点は各学科・基礎教育センターの教務委員に確認してください。

<機械工学科>

数学・物理・英語に関しては、基礎教育センターと調整の上、別途掲示するので26号館前学生掲示板および6号館機械工学科棟内掲示板を確認のこと。学習支援センターのセミナーを活用する場合があります。専門科目は必要に応じ、機械工学科教員が実施するので、6号館機械工学科棟内掲示板を確認のこと。

<生命環境化学科>

生命環境化学科では、専門科目の学修の前提となる基礎科目に関する学力の向上を目的として、学習支援センターで開講されている英語・化学・生物・数学等のセミナーを補習授業として活用します。これまでに十分習得できなかった基礎科目の習熟を目指すとともに、専門科目の理解ならびに大学の講義を学ぶ意欲をより高めるための手助けとして、学習支援センターの学習相談も積極的に活用して下さい。なお、詳細については、学習支援センターのホームページを確認して下さい。

<情報システム学科>

期末試験の成績が著しくおもしろくない学生には、補習によりフォローアップの機会を設けます。掲示または連絡等により呼び出しを受けた場合、指示に従ってください。

<基礎教育センター>

学科の求めに応じて補習を実施する。なお、基礎教育センターで独自に補習を設定することがある。

教員名	期間	曜日	相談時間	室番
山路 雅也	通年	火	12:55-13:20	2656
松田 智裕	通年	水	16:00-16:30	2663
高橋 優	通年	月	14:15-15:05	2671
坂梨 健史郎	通年	金	16:00-16:30	2657
高橋 俊典	通年	火	11:50-12:40	2667
清水 雅己	通年	月	14:15-15:05	2673